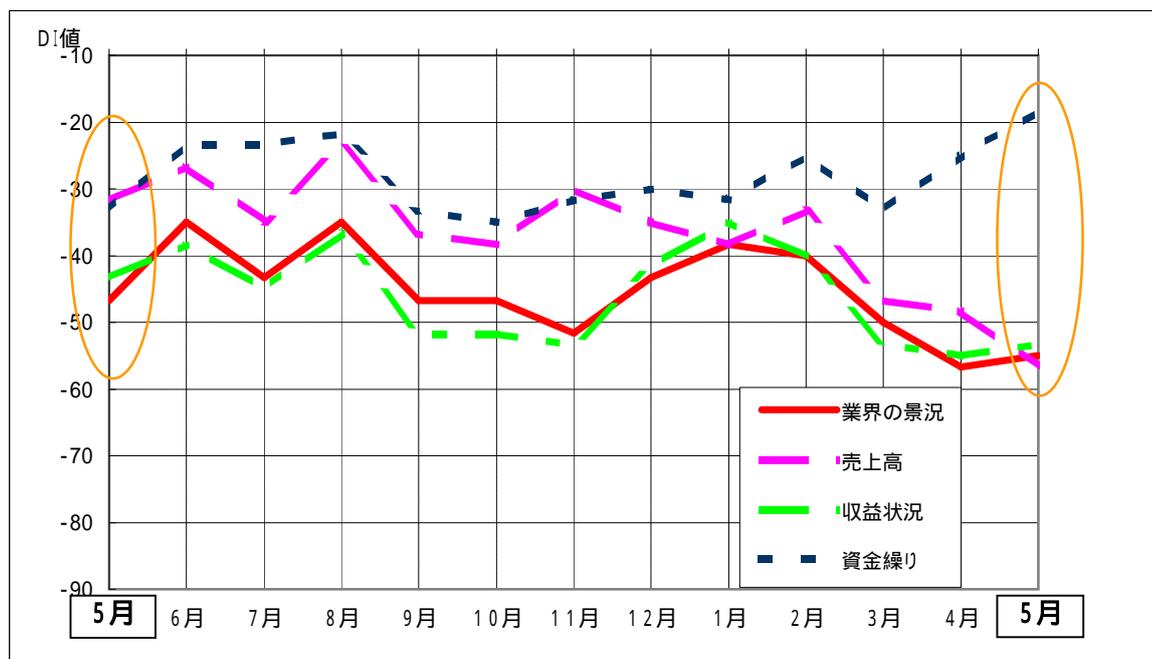


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年5月～平成23年5月

単位:ポイント



	H22					H23							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
業界の景況	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0
売上高	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7
収益状況	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3
資金繰り	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0	-18.3

5月のDI値は前年同月に比べ、3項目が悪化した。「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は2.5ポイント、「収益状況」DI値は1.0ポイントとそれぞれ悪化し、「資金繰り」DI値は1.5ポイント改善した。製造業と非製造業との比較では、非製造業の方が「売上高」で59.4ポイント、「業界の景況」で29.5ポイント、「収益状況」で26.3ポイントと低い値を示しており、前月と比べてその差は売上高で2.0ポイント以上広がった。なお、前月比で見ると、「売上高」は8.4ポイント悪化した。多くの業種で、東日本大震災による売上高の減少が起きている。原材料の価格上昇や仕入の遅れ、消費活動の停滞も続いており、今後の景気動向を注視する声が高まっている。

組合の特記事項からは、東日本大震災の影響が様々な面で生じていることが指摘されており、食料品製造業、繊維・繊維製品製造業、木材・木製品製造業等では、原材料の価格上昇や仕入の遅れが出ているという声、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業では、受注が減少しているという声があった。非製造業では、卸売業、商店街、サービス業を中心に、消費活動の停滞により売上が減少しているという声が多い。